

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス くるん		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童に対しての柔軟なプログラム、外部講師による体操教室やダンス、英語教室が行われていること	・活動予定表に記載することにより、保護者のニーズにこたえるようにしている	・体操教室は特に人気のため、曜日によって人数が偏る傾向がある。体操教室の日を増やすことや、年齢を制限するなどの対応が必要
2	・非常時に対する対応	・小学生の長期休暇中は一緒に戸外活動を行うなどの機会を設けている	・様々な経験を積むことができるように配慮をしていく ・保護者様の意見をさらに取り入れていく
3	・児童の満足度	・保護者が参加してみないと思うような内容の提供ができていない	・児童の成長がみられるようなイベントなどの提供

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域でほかの子供と活動する機会がない	・地域の児童と活動する機会を作ることができていない	・地域のイベントなどがあれば参加してみる
2	・災害発生に備えて必要な訓練が行われているかに対する評価が低い	・情報開示不足	・訓練前に事前の周知を行い、SNSなどで発信を行う
3	・非常時のマニュアルが保護者に周知、説明されているかに対する評価が低い	・周知する機会の不足	・非常時のマニュアルを配布する

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス くるん		公表日		令和7年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・活動場所を分けている	・全体で行う活動時に児童がぶつかりそうな時がある →スペースの活用をする	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・個別が必要な児童以外は集団で活動を行っている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・何をやる部屋かの記載がある ・各部屋に名前が記載されており見て理解できるようにしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・どのような部屋か記載されている ・部屋がわかれている活動内容によって使い分けている	・清掃はこまめに行う →気になった場所はその時に行う	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・勉強部屋とおもちゃ部屋で分けられている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・どのような目標があってそのために何をすべきかを話し合うことがある		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・面談など保護者の意見を聞く機会がある		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・全体会議で児童の今後の課題点などを出し合い話し合っている ・面談や会議その都度職員動詞で話す		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	・記録や現在の事業所の様子などを外部の方に話している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・より良い療育をしていくために研修などを受ける機会がある		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・具体的に詳しく総合的な支援について書かれている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・保護者の方が出している課題をどのように療育をしていくかの案が出されている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・個別の課題点やどのような療育が必要が検討されている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・職員全員が見れるようにしており、どのような課題点があるのかを知れるようになっている ・内容と配置の共有		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・ルールを理解するために定期的に行っている活動もある	・共有を行う	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・バランスよく被らないように活動を考えている		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・児童にあった活動内容を考えている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・職員が柔軟な支援ができるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		・その日に振り返るのではなく、全体会議の時に振り返りを行っている →当日は時間が厳しい時が多いため翌日に気になった所の共有をする
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・第三者が見てどのような様子だったのかを明確に知れるように調節している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		・交流の機会が増えてもよい →感染症対策で防げない部分が想定されるため流行していない時期などに計画をたててい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・その日の児童の様子や変わったことなどを共有している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・保護者の方と面談をする機会がある	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		・保護者会を設けたりなど交流したりすることができる	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		・保護者の同意を得たうえで児童の活動の様子などを載せている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個人情報が書かれているものがある棚には鍵がかかっている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		・事前ミーティングによる報告 →事業所内に開示しているので時間を確保したのちに確認を行う
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	・定期的に避難訓練を行い避難場所や通報する番号などの確認をしている	・事前ミーティングによる報告 →事業所内に開示しているので時間を確保したのちに確認を行う
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	・職員内で共有しあい起こった時の対処法など何度も確認をしている	・事前ミーティングによる報告 →事業所内に開示しているので時間を確保したのちに確認を行う
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・視野を広くして療育を行っている ・事前対策と声掛けをしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・虐待防止の研修を受け職員の意見を出す機会が設けられている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8				